

## 令和5年度 市長と語るまちづくり懇談会（勝間地区）会議録

日 時：令和5年10月27日（金）午前10時00分から午前11時30分まで

場 所：勝間市民センター

テーマ：地域で語るまちづくり

出席者：勝間コミュニティ推進協議会の皆様

周南市長

シティネットワーク推進部（シティネットワーク推進部長、市民の声を聞く課長ほか）

熊毛総合支所（総合支所長、地域政策課長 ほか）、勝間市民センター（所長）

### 1 懇談会の流れ

- (1) 開会
- (2) 参加者自己紹介
- (3) 懇談
- (4) 閉会

### 2 主な意見等

#### 国道2号線の安全について

##### 【地域】

- 遠見の岩徳線下を通る国道2号の急カーブにおいて、減速運転や急カーブの危険標示を施工していただいたが、その後も自動車の事故が発生したと聞いている。また、岩徳線と国道2号が交わる場所は、ガードレールが途切れている。白線から60cmと幅の狭い所もあり、自転車や歩行者が自動車と接触する可能性もある。
- 以前は、急カーブの手前から岩徳線の北側を直線を通るような話があったと聞いており、国の事業ではあるが、市から片道二車線の実現と歩道の安全対策を検討するように要望していただきたい。
- 岩徳線の北側を通すような事業は、住民、市、県がスクラムを組み、様々な場面で国に要望していかないと早期の実現は難しいと思う。

##### 【市長（※関係部署の回答も含む。）】

- 急に狭くなったりカーブしていたりと、当該地点の危険性は認識している。国の実施した安全対策は実現までに一年かかったが、早くできた方だと考えている。その対策以降、2件の物損事故が起きているが、1件は単独の自損事故、もう1件は凍結によるスリップであり、大きな事故は無い状況である。
- この場所の安全対策については、熊毛町の時代から国に要望しており、引き続き、関係機関と連携を図りながら片側二車線化や歩道の安全確保などの安全対策を要望していきたい。

#### 勝間ふれあい公園の遊具と歩道について

- 勝間ふれあい公園では、現在、3つの遊具に使用禁止の表示が貼ってあり、テープが巻

かれています。遊歩道ではウォーキングをしたり、仕事が終わって夜間に走る人もおられるのだが、この遊歩道に木の根が原因で盛り上がっているところは何箇所もある。2か所時計台があるが、そのうちひとつが止まっていて動いていない。

- 以前に都市計画税の説明を受けた際、都市計画税は道路や周辺の公園などの都市計画施設の整備事業や土地区画整理事業の費用に充てるためのものと聞いた。遊具や遊歩道、時計等は公園の中にあり、せつかく作ったものだから安全な状態で使えるように修理してもらいたい。
- 公園は使用した人が使用後にきれいにするものであり、スポ少のサッカーなども使用後に整備してくれている。
- 遊歩道は管理の委託業者が変わったことにより、これまでと作業の程度が変わってしまっているので、業者に対して指導してもらいたい。
- ふれあい公園のことではないが、児童遊園の中には近隣の自治会により管理できていないものがある。市から自治会に対して公園管理も自治会の役割であると周知してほしい。また、大きな樹木が危険な状態になった場合、自治会では管理しきれないので、市で対応してもらいたい。

#### 【市長（※関係部署の回答も含む。）】

- 勝間ふれあい公園は大きく立派な公園であり、今朝も状況を確認してきた。何人もグラウンドゴルフをされたり、周りを歩いておられたりしていて、有効活用され地域に愛されている公園だと感じた。
- ご指摘の3つの遊具は、それぞれ対応を進めている。ロープウェーは、本年度更新する予定。シーソーとスプリング遊具は危険回避のため、今年度中に撤去する予定。時期は示せないが、スプリング遊具等の横にある既存の複合遊具と一体的にリニューアルする予定。時計の修理は、可能な限り早期実現に向けて検討したい。遊歩道の不具合箇所は全部で5カ所あり、昨日現場での作業が完了した。  
遊歩道の管理については業者には指導していきたい。  
児童遊園については、身近な公園として地元の自治会に草刈り等の表面管理をお願いしている。管理の難しい高木等は市へお問合せいただきたい。公園管理についての啓発、協力依頼は機会があれば依頼していきたい。

#### 遠見白石線の通学路の安全確保について

##### 【地域】

- 勝間小学校から熊毛神社を經由して白石、松舟までの道路の片側の路側帯に白線と緑線を引いていただいたが道幅が狭い所があり、さらに白線を引くスペースが無く狭くて歩くのに危険な状態となっている。
- 特にカーブのところが歩道が幅広く狭くなっており、白線の無い箇所や白線・緑線の両方が無い箇所もある。
- 通学路なので蛇が出てはいけないと近隣の方が草刈りをしてくれていたが、横の斜面に盛り土をしてアスファルト舗装をすれば、歩くスペースも確保できると思うので、工事をお願いしたい。

**【市長（※関係部署の回答も含む。）】**

- これまでどなたかが法面の草刈りを行っておられたとお聞きしている。本当にありがたいことで、この場をお借りして感謝申し上げたい。車はスピードを出すだろうし、子どもが歩くことを考えると地域の皆さんが心配される気持ちがわかった。
- 早速、現地確認した。通学路としてだけでなく、地域の皆さんも歩くところであり、ご提案の整備については、盛り土による改良も含めて、現状での最善の方策について検討したい。

**勝間駅近くの交差点の安全確保について**

**【地域】**

- 勝間駅近くの交差点で、朝7時から7時40分まで立哨している。国道に近いこともあり、信号待ちの自動車により子どもには見通しが悪くなる。横断歩道の設置を考えたが、既に近くに横断歩道が存在していることから間隔の問題があり、難しいとのことだった。
- そこで、通学路の変更、交差点への注意喚起の表示のどちらかが良いのではないかと考えている。市でも検討してもらいたい。

**【市長（※関係部署の回答も含む。）】**

- 今日確認し、自転車通学の子ども達には危険だろうと感じた。学校としても、事故防止の対策として、該当の交差点を横断する際、一旦自転車を降りて、左右の安全を確認し、自転車を押して渡るよう、指導していると聞いている。立哨してくださっていることも、本当に感謝している。説明いただいたとおり、みんなで考えていきたい。
- 国道までの県道を周南土木事務所とともに現地確認したところ、中央線が通っていることから注意喚起の表示は難しいとのことだった。

もうひとつの案である通学路の変更は、駅前交差点までに一部ガードレールが無いため新たな設置が必要となること、歩道の幅員が狭く用地買収が必要となることなどから、国に要望するにしても整備に要する期間や経費がかさむことが想定される。駅前交差点から南下する際に、勝間小学校の通学路を逆走することになるため、通学時間帯が重なることから互いに通行の妨げになることが懸念される。

この交差点には市道側への停止指導線と交差点付近には2箇所カーブミラーが設置されていることから、中学校に情報提供したい。市道の路面への注意喚起の表示が効果的であるとされており、設置する場所や表示内容について、今後、警察などの関係機関と協議してまいりたい。

**周南市の人口増加の為の空き家対策について**

**【地域】**

- 勝間地区でも空き家が徐々に増えている。先日、自治会連合会で開催された空き家講演会で、空き家を更地にすると税金が6倍に上がると聞いた。空き家が残っていると火災、台風の被害、防犯上の問題もあるので、どうにかしないといけないと考えている。
- 周南市として人口増加を図っていくためには、定年退職して農業をやりたい人に「周南

市まで来たらできますよ」と言うような体制を整えていくべきじゃないかと考えている。そのためにも三丘地区で実施している「空き家を借り上げて整備し、移住・就農希望者に何泊か試してもらうような取組」を周南市全体で取り組んでいけば良いのではないかと。

- 街なかの賑わいを生むことがどこまで移住・定住に寄与するだろうか。様々な地域で子どもを増やすためにイベントを実施し、移住に取り組み、それを行政がフォローしていくことを期待したい。

### 【市長（※関係部署の回答も含む。）】

- 人口が減っていくことは皆さんよくご存知のことで、私は、「2050年を乗り越えられる周南市になること」をパーパスに掲げ、人口減少を本市の抱える最大の問題と位置づけ、全力で取り組んでいる。

空き家は、中山間地域だけでなく町中でも増えているので、市民全員が考えていかななくてはいけないことだと考えている。

- 移住・定住に関わる施策については、関係人口の創出・拡大、起業・創業支援の推進、UJIターンの促進などに庁内で連携して取り組んでいる。最近では、若い方や子育て世代からの相談も増えていることから、こうした方に対する支援制度の充実や安心して暮らせる住環境の整備などが重要と考えている。

これまでは、主に中山間地域への移住支援施策を展開してきた。中山間地区は、県が策定した条例により公示された地域や区域になるため、勝間地区は中山間地域を対象とした事業の対象外となっている。

しかしながら、空き家問題は中山間地域だけの問題ではないことから、令和4年度から、市全体を対象とした「老朽化し危険な状態となった空き家の解体を進めるための補助金」や「空き家のリフォームの補助金」を創設している。空き家の解体のための補助金は50万円を上限に補助し、空き家のリフォームの補助金は、一般世帯は50万円、子育て世帯は、100万円を上限に補助をしている。空き家は、台風被害や防犯上の安心安全の面からも課題もあるので、これらの補助金を活用いただきたい。

- これまでに開催した懇談会でも空き家を事前に改修して、きれいにした状態で紹介したいという話を伺ったが、これから引っ越してこられる方は「このような家にしたい」という優先順位もあると思う。選べるようにするような制度とする必要があるかもしれない。

周南市が「住み続けたいまち」として選ばれるよう、庁内の連携をしっかりと図り、地域の方と一緒に移住に取り組んでいきたい。

### 市民にとって公平公正な制度の在り方について

#### 【地域】

- ゴミステーションを新たにひとつ設置したいと相談したところ、15軒ないと設置できないと言われたという話を聞いた。旧徳山であれば理解できるが、熊毛地区で15軒となると広大なエリアとなる場合もある。このようなルールがまだ他にもあるのではないかと考えている。
- 災害時には率先して対応にあたるなど、市の職員の意識も変わってきていると感じる。市長がさらに旗を振ることで、柔軟な対応をとることができると考えている。

**【市長（※関係部署の回答も含む。）】**

- 市役所の中で『これまで』と『これから』は違う」と話している。ゴミステーションの例でいえば、家族がいればゴミ出しの負担が軽くなることもあれば、家族構成が変わることにより負担が重くなることもある。本市の高齢化の現状を踏まえた視点からも、ごみ対策は重要課題と位置付けている。

**行政改革の進捗状況について**

**【地域】**

- 行政改革の進捗状況について、熊毛地域のことを説明してもらいたい。

**【市長（※関係部署の回答も含む。）】**

- 行政改革は熊毛地域だけでなく、市全体を見据えながら取り組んでいる。市の貯金である財政調整基金は、60億円近くまで上がっており、行財政改革の成果だと考えている。  
行財政改革は旧熊毛町時代から取り組んでおり、合併後も歳出の抑制や歳入の拡大に継続して努めている。
- 合併前から実施してきた熊毛土地中央区画整理事業の完成や水道事業の開始をはじめ、ゆめプラザ熊毛や熊毛図書館、高水近隣公園の整備、高水及び勝間両駅への公衆トイレを建設した。  
学校施設では、熊毛中学校と5つの小学校の耐震化工事や外壁の工事を実施、熊毛中学校屋内運動場の改築、勝間小学校屋内運動場の大規模改修及び教室棟のトイレの洋式化の実施など、これまで多くのハード整備を実施してきた。  
勝間地区内の市道の改良事業では、以前より要望のあった勝間小学校西側、市道の直角カーブの改良を実施したほか、今年度は同小学校北側市道の歩道新設に伴う改良工事についても、前倒しして実施している。  
市道の維持管理に要する今年度の予算額は、平成24年度と比較して約3倍であり、市道の環境整備に努めている。引き続き、地域の安心安全の確保に努めていきたい。
- こども夢まつりには、市内の子ども達が岩徳線を使って集まってくる。すばらしいことだと思う。合併とはひとつのまちをつくること。徳山駅前には徳山の人だけのものではない。2市2町ですべて同じ事業に取り組むのではなく、それぞれのまちにあったことに取り組むことでひとつのまちになっていくと考えている。